



近隣町を巻き込んだ 交流人口増加と地域活性化策を

村中町長

大雪山や地域の魅力を生かし 圏域経済活性化となる事業を展開したい



谷口 雅浩 議員

■答弁・村中町長
谷口議員が述べられたとおり、本町はこれまで長きにわたり「スキーといちごのまち」をキャッチフレーズとしてPRを進めてきており、スキーやいちご狩りなどを

■質問・植西議員
介護保険制度が始まって20年以上経過しました。制度の必要性は高まるものの、制度そのものの安定性には疑問が残ります。そのための人員確保をどのように考えているのか伺います。

■質問・谷口議員
びつぷと言え、スキーといちごのまち」として知られているところですが、近年では「世界一大雪山がきれいに見えるまち」としての認知度が向上していると思います。それは、村中町長をはじめ町民がびつぷから見える大雪山の四季折々の風景をSNSを通じて、その魅力を情報発信されている結果ではないでしょうか。

この間、町外より100人以上の方が本町を訪れ、作品を応募いただくとともに、ご本人の発信や募集広告も含めると多くの皆様に本町の魅力を知っていただく機会となりました。また、コロナ禍であつても開催が可能な事業として、昨年より「びつぷ町フォトコンテスト」として事業を再開しています。

近隣町との連携について、今年に入り近隣町でも大雪山に係わるSNSの投稿が増えていることは、私も感じているところです。

そのような中、鷹栖町及び愛別町の公式ツイッターにおいても大雪山の投稿があったことから、本町より「大雪山」を話題とした企画を提案し、3町合同によるツイッターでのPR事業を実施しました。



雪が残る大雪山

この事業では、まずは3町を知っていたいただくことを目的とし、各町おすすめの大雪山の画像を3町同時にツイートするとともに、各町の関連ツイートを相互にリツイートする方法などで連携し、各町の魅力を発信しています。



介護保険制度を維持する 人材の育成をどう考えるか

村中町長

事業所への支援に加え、人材確保に向けた奨学金制度を活用したい



植西 浩一 議員

■質問・植西議員
介護保険制度が始まって20年以上経過しました。制度の必要性は高まるものの、制度そのものの安定性には疑問が残ります。そのための人員確保をどのように考えているのか伺います。

■答弁・村中町長
人材育成の具体的な内容としては、人事院人材局が導入を推進しているメンター制度^{※1}の導入などがあります。

■質問・植西議員
ふるさと納税を活用した産業活性化について

■村中町長
今後も持続的な活性化につながるように各事業所の特産品開発等に協力していきます。

■村中町長
様々なイベントが開かれることと思いますが、イベントの時だけでなく、持続的に町に訪れていただけるように魅力を発信したいと思います。

■植西議員
ダメ出しをするようなシンクタンクではなく、活性化を積極的に進めていこうとするシンクタンクを取捨選択していく必要があるのではないかと思います。

■村中町長
様々なイベントが開かれることと思いますが、イベントの時だけでなく、持続的に町に訪れていただけるように魅力を発信したいと思います。